

団体名	武庫川づくりと流域連携を進める会		
団体の所在地	宝塚市	代表者名	田村博美

1. 事業名	武庫川に天然アユを復活させるための環境保全・創造活動		
2. 実施期間	H21年4月からH22年2月28日		
3. 主な実施場所	宝塚市ほか武庫川沿川地域		
4. 活動形態	普及活動 実践活動 調査活動		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>①武庫川づくりと沿川地域の環境保全・創造のための運営会議をH20年4月からH21年2月末まで10回開催。その他イベント準備会議など実施。延べ170人</p> <p>②武庫川水系の水質調査実施。夏に身近な水環境全国一斉調査の一環として武庫川水系の26地点で水質調査を実施した(H21, 6/7)。秋に武庫川水系の27地点で会独自の水質調査を実施した(H21, 11/8)。延べ100人(会員と市民)</p> <p>③県のアユ調査への参加および下流域河川構造物観察調査の実施。延べ20人</p> <p>④武庫川フォーラム開催。「武庫川に天然アユの復活を～フォーラム2010」を開催した(H22, 2/20)。約80人参加 「みんなで考える武庫川の水質～フォーラム2010」を開催した(H22, 3/6)。約50人参加</p> <p>⑤「環境NGO・NPOひょうご対話～生物多様性の危機」へのポスターセッション参加(H21, 10/11)。14人参加</p> <p>以上の活動を実施しながら環境保全及び環境創造のための流域連携策や武庫川でできることについて研修や勉強会を実施した。例えば武庫川漁業協同組合との情報交換・交流等である。</p>		
6. 成果・反響・反省点等	<p>①会による水質調査の結果と県の調査結果等を比較評価することにより市民レベルの簡易測定でも十分武庫川の水質環境について把握できることが分かった。</p> <p>②「アユフォーラム」と「水質フォーラム」開催には多くの市民や専門家、行政も参加し、活動に対する理解が深まるとともに、新聞報道もされ武庫川づくりに向けた大きなPRとなった。</p> <p>③会の中の活動にとどまらず、「生物多様性フォーラム」へのポスター参加など多様な人々に活動をアピールするとともに会員の知識習得と新たな川づくりへのチャレンジなど大きな成果があった。</p> <p>④武庫流会の活動をほかの団体にもPRすることができ武庫川づくりへの幅広い関心と呼ぶことができた。</p> <p>⑤反省点として分科会活動などを並行し効果の増進を図る必要性が指摘される。</p>		
7. 成果物	<p>①会の目的と活動概要の紹介パンフ。</p> <p>②「武庫川に天然アユの復活を～フォーラム2010」資料と新聞報道資料及び写真。</p> <p>③「みんなで考える武庫川の水質～フォーラム2010」資料及び写真。</p> <p>④「環境NGO・NPOひょうご対話～生物多様性の危機」へのポスターセッション参加のためのパネル。</p>		
8. 活動写真・説明	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>武庫川に天然アユの復活を ～フォーラム2010</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>みんなで考える武庫川の水質 ～フォーラム2010</p> </div> </div>		